

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和2年度

市町村名	志木市					
提案事業名	志木駅前を中心としたアートによるまちのにぎわいづくり事業					
事業期間	30年度 ~ 30年度					
成果指標	(成果を検証する指標) アート事業に関連する観光イベント入込客数					
	(成果検証の具体的な方法) アート事業に関連する観光イベント入込客数(人)により成果指標の達成度を検証					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (30年1月時点)	0人	目標値 (31年3月時点)	300人	実績値 (31年3月時点)	5,785人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページ及び市報「広報しき」2019年7月号 NO. 587でSNS拡散人数及び経済効果を記載。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成30年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① ペDESTリアンデッキを活用したストリートアートによるにぎわい創出事業	◎ △ ×	ストリートアートと連動でカパルの特別住民票交付キャンペーンを実施したため、相乗効果によりSNS拡散と来訪者の増加を実現することができた。
② 志木駅東口駅前広場のイルミネーション装飾事業(拡充)	◎ △ ×	従来の駅前広場に加えて新たなエリアであるペDESTリデッキへの装飾を拡充することにより、更なるにぎわいの創出を実現した。
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	SNSと連携したカパルの特別住民票交付キャンペーンとストリートアートの公開を同時に実施したことで、特に市外からの来訪者が増加した。また、協力店舗への経済効果が600万円以上あったため、駅周辺の事業活性に貢献することができた。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	今後のイルミネーションについては、志木市らしいイルミネーションとはどのようなものかについて再度協議し、志木の冬のシンボルとして市民の方に愛されるようなものとするために検討をしていく。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合  
実績値 $\geq$ (目標値-従前値) $\times$ 80%+従前値

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合  
(目標値-従前値) $\times$ 60%+従前値 $\leq$ 実績値 $<$ (目標値-従前値) $\times$ 80%+従前値

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合  
実績値 $<$ (目標値-従前値) $\times$ 60%+従前値

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない